

大人にも「フッ素」は必要です！

「フッ素は子供だけに使うもの」と思っているいませんか？

「フッ素（フッ化物）」の応用は現在、「最も効果的で科学的裏付けのある虫歯予防法」です。

「虫歯」というある程度進行すると「治療しても元に戻らない病氣」に重要なのは「虫歯リスク（虫歯のなりやすさ）を下げて予防」という考えです。

虫歯リスクには「歯の表

面のリスク」「食事のリスク」「虫歯菌のリスク」などがあります。「食事」と

「虫歯菌」のリスクを下げるにはさまざまな要素が絡んでいるため、全ての人が一様に同じ効果を受けますことは事実上不可能です。

しかし「フッ素（フッ化物）」は使うだけで全ての人の対し同じ効果で「歯の表面の虫歯リスク」を下げるので、ほかの予防法より確実性が高いのです。

人の虫歯リスクは一定ではなく、人生のさまざまな場面で変化します。

歯の生えはじめ、進学、クラブ活動、就職、一人暮らし、同居、結婚、妊娠、出産、子育て、転職、別居、離婚、転居、再婚など人生のイベントにより、環境が変化する度に上下します。

ですから「フッ素（フッ化物）」は子供のものだけではなく、大人になってもリスクの変化に備えて有効な「盾」となって、皆さんの歯を守ってくれる心強い味方です。

特に大人の場合歯周病との絡みで、「根面う蝕」というものが発生しやすくなります。

歯周病で歯肉が下がる事によって歯の根の表面が露出しますが、この根の表面は柔らかく虫歯になりやすいため、私たち歯科医は頭を悩ませています。この「根面う蝕」の発生を抑えるために、「フッ素（フッ化物）」は非常に有効です。

「フッ素（フッ化物）」が歯の表面に作用する機会を増やせば、それだけ虫歯リスクは下がります。毎日「フッ素入りの歯磨き剤」、可能ならそのほかに「フッ素ジェル」や「フッ素洗口（うがい）液」を使って、年に数回、「歯科医院で高濃度のフッ素塗布」をしてもらうと良いでしょう。

「フッ素（フッ化物）」は一度使っただけで効果がずっと続くものではなく、継続して使用することが大切です。



～お口爽やかですか～

